

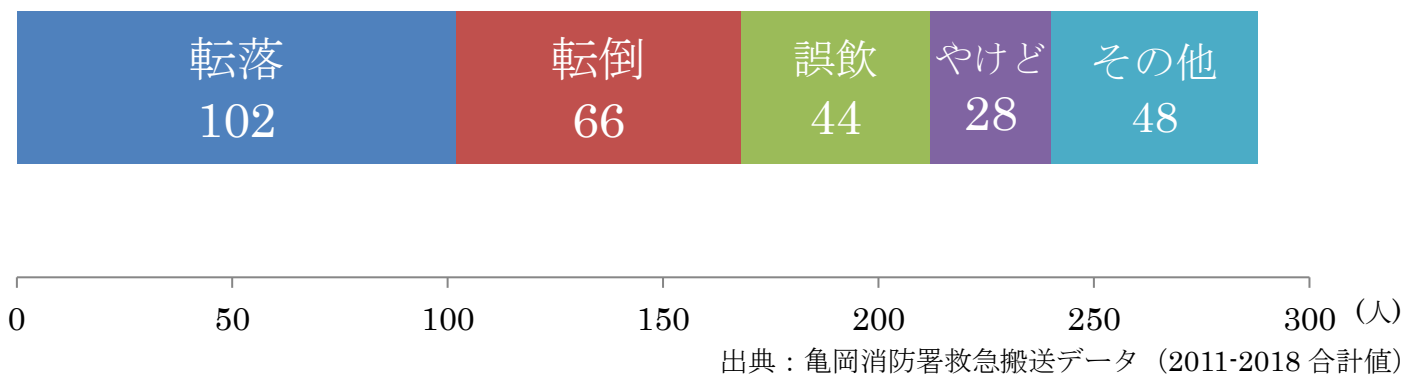
セーフコミュニティとは

セーフコミュニティ(SC)とは、WHO(世界保健機関)が推奨する「けがや事故などは偶然の結果ではなく、予防することができる」という理念に基づいて、体系だった方法によって、地域社会全体が協働で安全安心に取り組んでいるコミュニティのことで、亀岡市は国内で初めてSCの認証を取得しました。

亀岡市では、市内で発生しているけがや事故の現状及び課題などから、自殺対策、高齢者の安全対策、交通安全対策、防犯、スポーツの安全対策、乳幼児の安全対策の6つの対策委員会を設置し、市民の皆さんとともに安全・安心なまちづくりを進めています。

乳幼児のケガは ①転落 ②転倒 ③誤飲 の順に多いです

乳幼児の救急搬送における受傷原因



身の回りをチェックしてみよう！

乳幼児は体に対して頭が大きくバランスを崩しやすいです。また思いもよらない行動もするので、身の回りの環境を今一度確認し、転落や転倒、誤飲などのケガを防ぎましょう。

- 危険な場所によじ登れるものを置かない
- ソファに赤ちゃんを寝かせない
- テーブルや家具の角にはカバーをつける
- 小さなものは手の届かないところに置く
- 浴槽に水を入れっぱなしにしない



小さいサイズで貼りやすくなりました

亀岡市では、車のドライブレコーダーをまちの見守りに活用する「まち・レコプロジェクト」、制限速度を守りみんなで安全運転に取り組む「セーフティドライブプロジェクト」を進めており、参加者には車の後ろに貼るマグネット（又はステッカー）をお渡ししています。

このたび、今までのサイズに加えて小さいサイズも選んでいただけるようになりました。

大きいサイズが貼りにくい車もありましたが、より貼りやすくなりましたので、ぜひ御登録ください。



詳細はQRコードを読み取り、又は市役所6階自治防災課へお尋ね下さい。



まち・レコ
プロジェクト



セーフティドライブ
プロジェクト



ゲートキーパーを知っていますか？

一人でも多くの人が気づけるように

セーフコミュニティかめおか自殺対策委員会では、自殺対策の一つとして、ゲートキーパーの養成を進めています。

ゲートキーパーとは、自殺の危険サインに気づき、適切な対応、話を聞く、支援につなげることができる人のことです。

1月21日、亀岡市役所市民ホールでケアマネージャーを対象にゲートキーパー研修が行われ、約50人の参加者が傾聴する方法などを学びました。

また、同月24日にも市民を対象にゲートキーパー養成講座が開催され、約30人が参加されました。



「セーフコミュニティ」を知っていただくために

～クイズに正解して射的にチャレンジ～

この10年あまりのセーフコミュニティ活動によって亀岡市では大きな成果が出ていますが、そのことを市民のみなさんにもっと知って頂きたい！と考えています。

このため2月1日にギャラリーかめおかで開催された「ふるさとLovers2020」（亀岡市環境事業公社主催）にセーフコミュニティブースを出展し、セーフコミュニティクイズに正解した来場者に射的ゲームを楽しんで頂きました。今後も色々な取組をしていきますので、みなさまぜひ御参加ください！

